

# 学校感染症一覧



		病名				
第1種		エボラ出血熱	痘そう	急性灰白髄炎(ポリオ)	で治癒するまで出席停止	
		クリミア・コンゴ出血熱	鳥インフルエンザ(H5N1)	ラッサ熱		
		ペスト	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群(SARS)		
		マールブルグ病	南米出血熱	中東呼吸器症候群(MERS)		
第2種		病名	潜伏期間	感染期間	主な症状	医師の許可がおりるまで出席停止。
	1	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)	1~7日	発熱1日前から発熱後7日	発熱、全身倦怠、筋肉痛、悪寒、頭痛	
	2	百日咳	6~15日	発症後28日	発作性咳の長期反復、持続	
	3	はしか(麻疹)	9~14日	発熱2日前から発疹出現後4日	眼の充血、涙、めやに、鼻水、くしゃみ、発熱、口内の頬粘膜に白い斑点	
	4	おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)	14~24日	腫脹7日前から腫脹後9日	発熱、耳下腺、舌下腺、顎下腺の腫脹及び圧痛	
	5	三日はしか(風疹)	14~21日	発疹出現7日前から出現後7日	種々の発疹、軽熱、リンパ腺腫大	
	6	水ぼうそう(水痘)	11~20日	発疹出現2日前からすべて痂皮化	軽熱、被覆部に発疹、斑点丘疹状→水疱→顆粒状痂皮	
	7	プール熱(咽頭結膜熱)	5~6日	発症後2~3週	高熱、咽頭痛、頭痛、食欲不振、結膜充血、流涙、めやに	
	8	結核	2年以内	—	初期は自覚症状なし →倦怠感、寝汗、微熱、席 →発熱、呼吸困難、咳 →高熱、頭痛、嘔吐、けいれん	
9	髄膜炎菌性髄膜炎	3~4日	有効な治療開始後24時間	発熱、頭痛、意識障害、嘔吐		
第3種	10	コレラ	数時間~5日	—	水様性下痢、嘔吐、脱水症状	症状により学校医までその他の医師の許可
	11	細菌性赤痢	1~7日	—	発熱、頭痛、意識障害、嘔吐腹痛、下痢、嘔吐	
	12	腸管出血性大腸菌感染症	10時間~8日	—	水様性下痢、腹痛、血便	
	13	腸チフス	3~60日	—	継続する発熱、発疹	
	14	パラチフス	3~60日	—	継続する発熱、発疹	
	15	流行性角結膜炎	2~14日	発病後約2週間	結膜充血、まぶたの腫脹、異物感、流涙	
	16	急性出血性結膜炎	1~3日	発病後約4日	結膜出血、結膜充血、流涙、まぶたの腫脹、異物感	
そのほかの感染症	17	溶連菌感染症・ウイルス性肝炎A型・ウイルス性肝炎B型・手足口病・伝染性紅斑 ヘルパンギーナ・マイコプラズマ感染症・感染性胃腸炎(流行性嘔吐下痢症)等			え席条 ら停 れる止 がよ つ必 つ感 要染 症は の考 出	

※上記のような感染症の病気にかかった時は、医師の治療を受け登園の許可があるまで家で休んでください。  
 ※治癒後、当園する時は、医療機関で『意見書・治癒証明書』を記入してもらいご提出ください。  
 ただし、インフルエンザおよび溶連菌感染症の場合は『意見書・治癒証明書』は不要です。